

令和7年度とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 11月の講座風景

11月は見学三昧！文化工芸学科の皆さん的好奇心は、留まるところを知りません！コンサートホール舞台裏の音響照明室で発見したものは、複雑な機械と裏方さんの努力と熱意！紅葉真っ盛りの民芸館で発見したことは、民芸品の素朴な美しさとそれらを守り、熱心に語り継ぐ職員さん方の民芸品への“愛”。
今月も色々な出会いを通して、貴重な学びを得ることができました。

コンサートホール見学11/5(水)



【ふり返りより】

- 貴重な体験をさせて頂き感動しました。音響や照明など裏方の作業のお陰でコンサートが最高の状態で観られることに気づきました。パイプオルガンの演奏も本当に素敵でした。
- 職員さんの粋な計らいとホールに対する愛を感じます。3つのグランドピアノの特徴と素晴らしい、演奏者の好みやこだわりの話、舞台裏でのご苦労ややりがいなどの体験談等も興味深く聞かせていただきました。豊田のステキを再発見！

お茶畠見学11/12(水)



街にある広いお茶畠

無農薬のお茶のお味は？

- 【ふり返りより】
- いしかわ製茶さんが信念を貫いてお茶づくりをした話に感動しました。豊田のお茶は、全国に誇れます。
 - 「自分の愛するものを次世代に残したい」、「自分がされて嬉しかったことを人にもする」という言葉が心に残っています。

民芸～暮らしの中にある美の世界～11/26(水)



講師：豊田市民芸館 学芸員さん



日常使いの道具にも“美”はありますね



鈴木繁男「手と眼の創作」展を鑑賞しました

【ふり返りより】

- 文化工芸学科ならではの講座で、大変勉強になりました。豊田にこのような素敵な場所があるのに、興味も持たずに知らずにいたのは残念なことでした。
- 普段の生活の中にある道具や工芸品などを見ると懐かしくもあり、その良さを感じます。未来に向けて、忘れられたりなくなったりしないように民芸館の役割は大きいなと思いました。